

議員出前講座 学生感想



【大分県立芸術文化短期大学】

◆平成30年5月29日（火）

◆1年生 180人

◆派遣議員：吉岡議員、堤議員

- ・選挙権を持っているので、自分から進んで情報を得なければならないと思いました。これから少しでも政治に関わりたいなと思いました。
- ・県会議員の方は、実際に現地に行って、地域の問題を目にし、地元住民の声に耳を傾けて県に尽くしてるのだとわかった。
- ・政治に参加できることを軽視せず、様々な政治や地域の情報を通して、何が自分にできるか考えていきたいと思った。
- ・県議会の役割と仕組みの図がわかりやすく、どうやって県民の意見を反映しているのかが良く分かった。
- ・県議会が住民の意見を聞いて県政に反映が出来るように請願や陳情のような要望を受け付ける場や傍聴、インターネットでの生放送など情報の発信を充実させていることが、よりよい県政づくりへつながっていると感じました。
- ・選挙は、ただ単に投票するだけでなく、政治に関わっているという意識を持って行動していかなければならないと考えさせられた。



【吉岡議員】

県議会議員は、本会議で質問するだけでなく、審議された事案がきちんと実行されているかの監視など本会議以外での仕事が多いと思いました。

・（予算について）大きなお金が動いていることに驚きました。芸短の新図書館や棟も、予算の中から作られていることを知って、県議会はとても身近な存在で、私たちは、かなり支援されていたんだということに気がつきました。

・報道では、政治の全ての面が伝えられている訳ではないので、情報を見極めて政治に参加する努力をしていきたいです。

・今まで政治には無関心だったのですが、19歳になるのでそろそろ本気で世の中について知っていかなければ社会に出る資格はないと思います。今日はすごく刺激になりました。

・県議会議員は、政策・予算の議決、委員会へ所属し、議案の審査、執行状況の調査・監視、調査・研究活動など、多くの活動をされていてすごいと思いました。



【堤議員】

